

## スプレディングペチュニア ウェーブ™・シリーズ 【後編: 鉢上げ～出荷】

### ウェーブシリーズの生産時の留意点

- ウェーブ™ペチュニアは長日開花植物である。特性的な詳細については下記の「**日長時間との関係**」の項を参照
- パープル・ウェーブ/インブルー(改良種)は、従来のパープル・ウェーブ/クラシックよりも日長条件による影響が少なく、約1週早く開花する
- ウェーブ™ペチュニアは、ひじょうに旺盛であるため、一般に流通しているペチュニアよりも矮化剤を多く必要とします。特性的な詳細については下記の「**矮化剤**」の項を参照

### プラグ/育苗管理(ライナー生産を含む)

ウェーブ™ペチュニアのプラグ育苗管理の GrowerFacts(前編)をご参照ください

### 鉢上げから出荷まで

#### コンテナサイズ

コンテナサイズは最低でも 10.5cm 以上が望ましい

10.5 から 15cm ポット: 1 本植え

25cm バスケット: 3, 4 本植え

※ パープル、ピンク、ミスティライラックでは 3 本植え

※ ブルー、ローズ、ラベンダーでは 3 本植え

#### 培地(用土)

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。土壌 pH は 5.5 から 6.3 が適正、培地の初期の養分量は中庸とする

#### 温度

昼間温度: 16 から 18℃

夜間温度: 14 から 16℃

ウェーブ・ペチュニアは、低温であっても概ね 2℃くらいまでは耐性をもっています。ただし、適切な日長条件のもとでは、到花期間の早晩は生産時の温度の平均値に影響を受けることを覚えておきましょう。ウェーブ・ペチュニアは、低温の条件では開花までより長い時間を要します

#### 日長時間との関係

ウェーブペチュニア(全シリーズ、全品種)の日長時間と開花の関係は栽培される場所の緯度や作型によって異なる。補光等の必要性の有無はこの資料の 4 ページにある表を参照

長日条件の処理、あるいは暗期中断は、本葉枚数が 5 枚の時点で、あるいはもう少し早く開始する。長日条件は葉枚数が少なくとも 12 枚くらいになるか、自然に適正な日長条件に達するまで続ける。シーズンの早い作型で短日の条件では、補助電照を継続的に用いることによって、生産期間の短縮化も可能である。明期延長、暗期中断(午後 10 時から午前 2 時の 4 時間設定)のどちらでも有効である

HID または白熱灯でも、花の誘因についてはどちらも同様の効果がある。花芽の分化には 100 ルクス(10f.c.)の照度で 3 メートル上からつるす方法が望ましい。白熱灯を用いる場合は、より徒長することが考えられるので、株を抑制するために矮化剤を多く必要とする点を留意しておく。また白熱灯を用いると、わきからの側枝が出てくるため、短日下よりも株がアップライト(上向き)になりやすい点も留意しなければならない。この傾向は、とくにローズやミスティライラックで現れやすい。

株はガーデンに定植後は、自然な光条件の下で再び通常のほふく性の性質を示す。適度な温度管理が維持されている間は、光条件をできるだけ高いレベルで維持する。ただし光が強すぎたり、または矮化剤の影響によって、ミスティライラックには斑やスターパターンが現れることがある

#### 肥料

ウェーブ・シリーズは、通常のペチュニアの生産で示されているよりも多くの肥料を必要とする。有効な手段として、かん水の 2、3 回に一度、バランスタイプの肥料を 300ppm の濃度で与えます。条件的や株姿から、肥料を多く必要としない場合は施肥を 1 回省くことが可能。消費者の購入後の満足を考慮し、出荷の 10 日前に置き肥を供与することを薦めている

#### 矮化処理剤

パンアメリカン・シードでは、ウェーブ・シリーズに以下のような矮化剤の処理方法を用いている。このいわば「レシピ(方法)」は、同社のイリノイ州に所在するエルバーン研究開発施設にて確認された。手順としては、15cm のポットに十分な分枝を作らせ、開花時にはだいたい 25 から 30cm の株を張らせて、販売適期に最良の株姿を得るためのレシピである。性質として、ローズとミスティライラックは、開花時に株がポットを十分に覆うような草姿が期待できる。また、ブルーやピンク、パープル、ラベンダーでは、初回開花のときは花が中心に集まる傾向がある

### 【15cm ポット移植の場合】

移植後 7 から 10 日後に、2,500 から 5,000ppm の B ナインを散布する。7 日後にもう一度、繰り返す。またボンザイを用いる場合は、移植後 3、4 週またはわきからの側枝がポットのへりに達するころに、以下の濃度で品種ごとにかん注投与する。

- パープル(改良種): 8 から 10ppm
- パープル/クラシック、ピンク、ミスティライラック: 5ppm
- ブルー、ラベンダー、ローズ: 8 から 10ppm

ボンザイの追加が必要な場合は、1 週後に 15 から 30ppm を散布する

ウェーブの株をよりコンパクトに仕上げるには、(生産の)最終段階において乾燥条件(かん水の合間は多少、葉色が変わる程度)を維持することが重要である。高密度な管理の際は、時間の経過とともにスペースをとるときよりも、矮化剤投与の頻度を増やし、矮化剤の濃度も上げる必要がある。また、高温や湿度が高い条件でも矮化剤の濃度を高くする必要がある

### 【ハンギングバスケットの場合】

**オプション 1:** 移植後 7 から 10 日後に、3,500 から 5,000ppm の B ナインを散布する。7 日後にもう一度、繰り返す。ボンザイを用いる場合は、移植後 3、4 週で 30ppm の濃度で一度かん注する。必要であれば、追加のボンザイをかん注投与する

**オプション 2:** 移植後 7 から 10 日後に、3,500 から 5,000ppm の B ナインを散布する。7 日後にもう一度、繰り返す。ボンザイを用いる場合は、移植後 3 週で 3 から 4ppm の濃度で一度かん注する。効果が現れないときは、追加のボンザイをかん注投与する

B ナインには分枝を向上させる効果もあるが、開花が 1 週ていど遅れる可能性がある。ボンザイは(開花の)早晩への影響はない。株を花壇等へ定植した後は、いずれの矮化剤の場合もその影響はほとんど残らないと見られている

※ 矮化剤を用いる場合は、その使用にあたっては使用上の注意や省令、政令などを必ず遵守する

### 平均的な生産期間

播種から移植まで(392 穴トレイ): 5 から 6 週

移植から出荷適期(開花)まで:

春生産 - 7 から 10 週(長日条件下)

夏生産 - 4 から 7 週(長日、高い光条件下/最低温度 18°C)

播種から出荷適期(開花)

コンテナ サイズ	定植本数 /ポット	春生産 (春出荷)	夏生産 (夏出荷)
10.5cm ポット	1 株	12-14 週	9-11 週
15cm ポット	1 株	12-14 週	9-11 週
25cm ポット・ バスケット	3-4 株	13-16 週	10-13 週

※ シリーズ内の早晩比較では、ラベンダー、ブルー、ミスティライラック、ローズ、パープル Improved(改良種)は、ピンク、パープル/クラシックよりも約 1 週早く開花する

### 予想される病例、虫害等

適正な管理のもと、いわゆる IPM(総合的病虫害管理)が行なわれているのであれば、病気や虫害によるとくに大きな問題は少ないと考えられる

### 鉢上げから出荷まで(仮植苗から移植の場合)

#### 日長時間との関係

日長時間が 11 時間以上のときは、自然の日長を利用

#### 矮化剤処理

ボンザイを 1 回ないし数回、温度や天候、あるいは過去の栽培経験などにもとづいて、30 から 60ppm で散布する。矮化剤はとくに必要な場合を除いて、通常のプロダクション管理を行う

### 平均的な生産期間

播種から移植まで: 6 から 7 週(直播き)

7 から 9 週(小さなプラグを移植)

移植から開花まで: 5 から 6 週(50 穴トレイから移植)

※ パープル/クラシックとピンクではさらに 1 週長くかかる。また 72 穴トレイでは 5 かかる 7 週(同様に、パープル/クラシックとピンクではさらに 1 週長くかかる)

#### ■ ハンギングバスケットのアドバイス

生産の終了段階でも、施肥と矮化剤の使用を継続して行う。出荷の前に、生長制御のために施肥を止めてはいけない。その段階でも肥料の濃度を半分以下に下げ、株の性質を維持できるように施肥を続け、矮化剤も使用する。ベンチで株が置かれている位置(高さ)の通気性をよくすることが大切で、これによって病気などによる個体数の損失が改善される

株を枯らせないように十分注意する。水分を適度に維持することが重要で、これが株のパフォーマンスや中央の花つきの良否につながる

#### ■ 小売店納品後のアドバイス

〜ウェーブ™ペチュニアの株をフレッシュで健康に保つためのアドバイスです

- ウェーブ™ペチュニアの陳列は、日ざしが厳しい場合は遮光をする。さもないと土がすぐ乾いて、水やりの頻度が多くなる
- ウェーブ™ペチュニアは完全に乾かしてはいけない。常にある程度の水分がある状態を維持する
- ウェーブ™ペチュニアの陳列は、株どうしの葉が触れるか触れないくらいのスペースをとる
- ウェーブ™ペチュニアへの肥料は、汎用タイプの液肥を週に一度、表示に記載されている濃度(あるいは倍率)に従って与える
- 一般の消費者(ガーデナー)へ、ウェーブ™ペチュニアの品種特性情報を供与する。つまり、この一年生のペチュニアは生育旺盛で生長も早く、2、3 週間でガーデンをいっぱい埋める性質を有する



